

問1 平安時代中期、天皇の后を出すことで政治の実権を握った代表的な一族は誰？

1. 藤原氏 2. 源氏 3. 平氏 4. 橘氏

問2 源氏物語が生まれた当時の、貴族の感性を反映した日本独自の華やかな文化を何という？

1. 弘仁・貞観文化 2. 国風文化 3. 東山文化 4. 天平文化

問3 平安時代中期に、地方の統治や徴税などの実務を一任された地方官を何という？

1. 郡司 2. 目代 3. 太宰帥 4. 国司

問4 平安時代初期に唐から天台宗を伝え、比叡山に延暦寺を開いた人物は誰？

1. 親鸞 2. 日蓮 3. 最澄 4. 空海

問5 平安時代に唐から帰国し、比叡山に延暦寺を建てて天台宗を開いた僧は誰？

1. 最澄 2. 法然 3. 空海 4. 親鸞

問6 平安時代、地方の政治が乱れる大きな原因の一つとなった制度の廃止を何という？

1. 平城京遷都 2. 遣唐使廃止 3. 長岡京遷都 4. 大化の改新

問7 清少納言が仕え、『枕草子』執筆のきっかけとなった一条天皇の后は誰？

1. 藤原彰子 2. 藤原妍子 3. 藤原威子 4. 中宮定子

問8 国司が中央政府から認められた、現地の税を集める権利を何という？

1. 軍事権 2. 裁判権 3. 徴税権 4. 外交権

問9 上皇が権力を強めるため、自らの警護や武力行使のために雇った地方の武士団を何という？

1. 西面の武士 2. 北面の武士 3. 六波羅探題 4. 侍所

問10 平治の乱で勝利し、武士として初めて太政大臣に任命された人物は誰？

1. 平清盛 2. 藤原頼長 3. 源義朝 4. 源頼政

問11 桓武天皇から命を受け、蝦夷を服属させるために派遣された武将は誰？

1. 源義家 2. 藤原純友 3. 坂上田村麻呂 4. 平将門

問12 平安時代中期に『源氏物語』を執筆し、一条天皇の中宮彰子に仕えた女性作家は誰？

1. 清少納言 2. 菅原孝標女 3. 和泉式部 4. 紫式部

問13 空海が唐で学んだ密教を日本に広めるために金剛峯寺を建立した際、唐へ渡った制度を何という？

1. 遣唐使 2. 遣渤海使 3. 遣新羅使 4. 遣隋使

問14 空海が高野山に建立した、真言宗の総本山として知られる寺院は何？

1. 法隆寺 2. 金剛峯寺 3. 東大寺 4. 延暦寺

問15 1086年に天皇の位を譲った後、上皇として御所外から政治の実権を握った人物は誰？

1. 後鳥羽上皇 2. 鳥羽上皇 3. 白河上皇 4. 後白河上皇

問16 空海が開いた高野山の金剛峯寺が総本山である、平安時代に広まった仏教の宗派を何という？

1. 法相宗 2. 浄土宗 3. 天台宗 4. 真言宗

答え合わせ・解説

問1	答え 1 藤原氏	藤原氏は、自分の娘を天皇に嫁がせて生まれた子を次代の天皇にすることで、天皇の親戚（外戚）として権力を振るいました。藤原道長の時代に全盛期を迎え、朝廷の主要な官職を独占しました。
問2	答え 2 国風文化	かな文字の発達により、『源氏物語』や『枕草子』などのすぐれた文学作品が生まれました。また、貴族の住宅様式である寝殿造や、大和絵などの芸術も発展し、平安貴族の生活に深く根付いた文化が形成されました。
問3	答え 4 国司	国司は地方の政治や徴税を一手に引き受ける地方官です。この職に就くことは、地方の富を吸収できるため、貴族たちにとって大変うまみのあるポストとされていました。
問4	答え 3 最澄	最澄は唐へ渡り、天台宗を学んで帰国しました。比叡山に延暦寺を建立し、厳しい修行を通じて多くの高僧を育てました。また、大乘仏教の戒律を授けるための「大乘戒壇」の建立を目指しました。
問5	答え 1 最澄	最澄は、唐に渡って天台の教えを学び、日本に帰国して比叡山に延暦寺を建立しました。彼は「すべての人が救われる」という平等を説き、厳しい修行を重視する天台宗を開きました。また、比叡山には多くの優れた僧が集まり、後の日本仏教界に多大な影響を与えました。
問6	答え 2 遣唐使廃止	894年の遣唐使廃止によって日本は中国との公的な外交関係を絶ちました。これにより、中央政府の関心は外交から国内統治へと向かいましたが、地方へ派遣された国司たちが現地に赴かず、京に留まって私腹を肥やすといった政治の腐敗が目立つようになりました。
問7	答え 4 中宮定子	中宮定子は非常に教養深く、気品あふれる人物として知られていました。彼女に仕えた清少納言は、その優雅な振る舞いやサロンの様子を『枕草子』の中に書き残しました。定子は、平安貴族の優雅な生活を象徴する存在の一人です。
問8	答え 3 徴税権	10世紀頃、朝廷は国司に一定額の税収を保証させる代わりに、徴税権や地方の行政権を大幅に委譲しました。これにより国司は現地の経済を支配し、大きな利益を得られるようになりました。
問9	答え 2 北面の武士	白河上皇が御所の北側に部屋を設けて警護させたことから「北面の武士」と呼ばれます。彼らは単なる警備員ではなく、実行使の手段として上皇の信頼を受け、次第に政治的な発言力を持つようになりました。
問10	答え 1 平清盛	平清盛は、平治の乱で源義朝を破って政権を握りました。武士として初めて太政大臣に任命され、一族の繁栄を築き上げました。また、日宋貿易を積極的にに行い、経済的基盤も強化しました。
問11	答え 3 坂上田村麻呂	坂上田村麻呂は、桓武天皇により「征夷大將軍」に任命され、大規模な軍を率いて東北へ向かいました。彼は蝦夷の指導者であった阿弭流為らを降伏させ、朝廷の支配圏を現在の岩手県あたりまで拡大させました。
問12	答え 4 紫式部	紫式部は、中宮彰子に仕える女房として宮廷で生活しながら、全54帖からなる『源氏物語』を執筆しました。この作品は、貴族社会の人間模様や恋愛、栄枯盛衰を細やかに描いた世界文学の傑作です。また、彼女が日々の生活や宮中の様子を書き留めた『紫式部日記』も、当時の歴史を知るための貴重な資料となっています。
問13	答え 1 遣唐使	遣唐使は7世紀から9世紀にかけて、朝廷が中国へ送った外交使節団です。空海や最澄ら多くの僧侶や留学生が渡り、仏教の教えや政治制度、芸術などを持ち帰りました。これにより日本の社会や文化は大きな影響を受けました。
問14	答え 2 金剛峯寺	金剛峯寺は、高野山にある真言宗の拠点となる寺院です。空海は嵯峨天皇からこの土地を下賜され、修行道場を築きました。広大な敷地には多くの寺院が立ち並び、宗教都市としての役割も果たしました。金剛峯寺は、真言宗の教えを広める中心地として、また信者たちが祈りを捧げる聖地として長年大切にされてきました。
問15	答え 3 白河上皇	白河上皇は1086年に天皇の位を子に譲り、自らは上皇となって政治を執り行いました。これを「院政」といいます。これにより、摂関家ではなく天皇や上皇が権力の中心となりました。
問16	答え 4 真言宗	真言宗は、空海が唐から持ち帰った密教の教えに基づく宗派です。呪文や曼荼羅（まんだら）を用いて悟りを開くことを目指す点が大きな特徴です。高野山にある金剛峯寺は、現在も真言宗の総本山として広く知られており、当時の貴族たちからも厚い帰依を受けていました。